

会 議 名 (審議会等名)		平成 21 年度 第 3 回 川西市社会福祉審議会 児童育成専門部会		
事 務 局 (担 当 課)		こども部 子育て室 子育て支援課 内線 (2683)		
開催日時		平成 22 年 3 月 30 日 (火) 13 時 30 分～14 時 30 分		
開催場所		川西市保健センター 2 階 健康教育室		
出席者	委員 (敬称略)	喜谷職務代理者、古谷委員、渋谷委員、南委員、柳川委員、 林委員、松本委員、下山委員、森友委員、今井委員、種池委員、 中井委員 計 12 人		
	事務局	こども部後藤部長、子育て室藪野室長、 子育て支援課田淵課長、保育課塚北課長、同課山元主幹、 青少年支援課小倉課長、子育て支援課中西課長補佐		
	その他			
傍聴の可否		☒ 可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	2 人
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由				
会議次第		1. 報告事項 (1) 「川西市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)」(案)に関する委員からのご意見等について (2) 「川西市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)」について 2. その他		
会議結果		詳細は審議経過のとおり		

審 議 経 過

	1. 開会 2. 議事
職 務 代理者	本日の議事に入る。報告第 1 の「川西市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)」(案)に関する委員からのご意見等について、事務局より説明願いたい。
事務局	(「川西市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)」(案)に関する委員からのご意見等について説明) …別紙資料 1 及び別紙資料 2
職 務 代理者	質問をお願いします。
委 員	「認定こども園の検討」に関して、調査・検討を進めるとしているが、具体的な計画を聞きたい。
事務局	今後の大きな動きとして、国が 22 年 6 月に幼保の一体化について一定の方向性を示す予定となっている。国の動向を見極めつつ、認定こども園の在り方について検討を進める。また、私立幼稚園を中心に移行を進める動きがある中で、22 年 4 月に 1 つの園が幼稚園型の認定こども園に移行する予定である。今後も「子どもの最善の利益」の視点を基本に個別で検討を行っていく。
委 員	「留守家庭児童育成クラブの延長育成」について、5 人以上の希望がない場合は実施していないが、保育所や幼稚園では人数に関わらず実施している。延長育成のニーズがある中で、希望者が 1 人であっても必要に応じて実施すべきではないか。
事務局	22 年度では、全 16 小学校のうち 9 校で延長育成を実施する予定である。延長育成を 5 人以上で実施としている理由は、集団生活を送るには少なくとも 5 人以上は必要であるとの考えと、他の児童が帰宅する中で、少数の児童が残る場合の子どもの気持ちを考慮したものである。一方で、年度途中で希望人数が変化することがあるため、年度途中の再調査について、今後検討を行う予定である。
職 務 代理者	報告第 2 の「川西市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)」について、事務局より説明願いたい。
事務局	(「川西市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)」について説明) …別紙資料 1 及び別紙資料 3

職 務 代理者	質問をお願いします。
委 員	「認可外保育所の支援」について、平成 26 年度までの目標として、認可保育所への移行を 1 保育所としているが、具体的に進んでいるのか。
事務局	認可外保育所については、認可を受けることで、一定の職員配置や施設規模を備え、保育の質的向上につながると考える。現在、市の北部にある認可外保育所から認可保育所への移行相談があることから、施設や設備、保育のノウハウ等について協議・調整を進め、移行支援を行いたいと考える。
職 務 代理者	当専門部会での行動計画策定に関する協議は終了とする。計画の推進にあたっては、各事業の進行管理や検証に努め、年次的・計画的に取り組んでいただきたい。 また、計画にも示されているように、行政だけでなく、地域などの関係機関・団体や企業等が一体となった取り組みが重要であると考えてるので、よろしくをお願いしたい。 これで、第 3 回川西市社会福祉審議会児童育成専門部会を終了する。

※別紙資料は、市政情報コーナーに備え付けています。